

2023 年度 麗澤大学

総合型選抜要項

- ・課題プレゼン型 I 期/Ⅲ期
- ・グループディスカッション型
- ・基礎学力型 I 期/Ⅱ期
- ・面接型

第1版2022年6月30日
第2版2022年8月15日
第3版2022年9月16日

-
- 本選抜要項には、出願から入学手続完了までのすべての事項が記載してあります。よく読んで、思い違い、書き違いのないよう十分注意してください。
 - 新型コロナウイルス感染症対策による変更について
今後の新型コロナウイルス感染拡大状況や政府の方針によっては、要項記載の内容に変更が生じる場合があります。変更が生じた場合は、本学 WEB サイト (<https://www.reitaku-u.ac.jp/>) にて速やかにお知らせしますので、出願にあたっては、必ず本学 WEB サイトに掲載された最新情報をご確認ください。
 - 来学での受験となります。事情により、来学での受験ができない場合は大学入試課宛にご連絡ください。
-

出願から入学手続きまでの流れ

STEP
1

本選抜要項で、選抜日程・受験科目・各選抜方式・必要書類を確認する

STEP
2

出 願

WEB 出願

①出願内容を登録

(氏名、志望学部・学科・専攻、試験日、選考方法、入学検定料の支払方法など)



②入学検定料の支払い



③指定の書類を印刷

(画面や確認メールの指示に従い、確認票や支払票など指定の書類を印刷する)



④出願書類の郵送

(必ず簡易書留の速達で郵送)

出願完了

STEP
3

「麗澤大学 WEB 出願 出願受付通知」という
件名のメールが届いたら、受験票を印刷する

STEP
4

指定の試験場で受験する

STEP
5

合格発表を確認する (WEB による合否照会 合格発表日 午前 10 時～)

STEP
6

入学手続きを行う

目 次

1 アドミッション・ポリシー

国際学部	1
外国語学部	1
経済学部	1

2 各学部の学修の特長、目的

国際学部	2
外国語学部	3
経済学部	4

3 募集学部・学科・専攻および募集人員

国際学部	6
外国語学部	6
経済学部	7

4 総合型選抜 選抜要項

総合型選抜【課題プレゼン型Ⅰ期】（専願型／併願型）

試験日程	8
選考方法	8
プレゼンテーションの実施方法について	9
時間割	9
出願条件	9
課題テーマ	
国際学部	10
外国語学部	12
経済学部	13

総合型選抜【課題プレゼン型Ⅲ期】※国際学部のみ

試験日程	15
選考方法	15
プレゼンテーションの実施方法について	15
時間割	15
出願条件	15
課題テーマ	16

総合型選抜【グループディスカッション型】※外国語学部のみ

試験日程	17
選考方法	17
グループディスカッションの実施方法について	18
時間割	18
出願条件	18
課題テーマ	19

総合型選抜【基礎学力型Ⅰ期】（専願型／併願型）

試験日程	20
選考方法	20

時間割	20
出願条件	20
総合型選抜【基礎学力型Ⅱ期】（専願型）	
試験日程	21
選考方法	21
時間割	21
出願条件	21
総合型選抜【面接型】	
試験日程	22
選考方法	22
時間割	22
出願条件	22
共通事項	
出願書類一覧	
出願書類	25
プレゼンテーションの実施方法について（総合型選抜【課題プレゼン型Ⅰ、Ⅲ期】）	
	27
課題レポート作成要領（総合型選抜【課題プレゼン型】）	
作成要領	28
付属資料記入要領	
記入上の注意	29
各項目について	29
評価の視点	29
資格コード表（別表）	30
諸活動の例示	30
レポート作成要領（総合型選抜【面接型】）	
作成要領	31
出願手続	
出願方法	32
入学検定料の納入	32
出願手続上の注意事項	32
個人情報の取り扱いについて	32
障がい等の理由で受験上の配慮を希望する者への配慮	33
受験	
受験方法	34
受験票印刷	34
試験会場	34
受験上の注意	34
合格発表	
	35
入学手続	
入学手続方法	36
入学手続書類	36
学校納付金振込期限および振込受領書提出期限	36
入学辞退と納入金の返還	36
2023年度学校納付金（予定）— 年額 —	
	37
試験会場案内	38
災害特別措置	39

1 アドミッション・ポリシー

国際学部

グローバル社会で生き抜くコミュニケーション能力と人間力を身につけ、地球規模で生ずる様々な問題を把握し、それに対処していける人材、すなわち高い志と倫理観を備えたグローバルリーダーを育成するという本学部の教育理念を達成させるため、以下の知識・能力・態度を身に付けている者を求め、受け入れます。

- (1) 「知徳一体」の教育理念を理解し、関心を持つ者
- (2) 国際学部の学習内容を理解し、関心を持つ者
- (3) 国際学部での学習に必要な基礎的知識を持つ者
- (4) 英語の基礎的な運用技能を持つ者
- (5) 国際学部で学ぶ目的意識の強い者
- (6) 目標に向けて継続的な努力を続けられる者

外国語学部

語学力・コミュニケーション能力・多文化理解能力を備えた、国際的教養人を育成するという本学部の教育目標を達成させるため、以下の知識・能力・態度を身に付けている者を求め、受け入れます。

- (1) 外国語学部の学習内容を理解し、関心を持つ者
- (2) 外国語学部での学習に必要な基礎的知識を持つ者
- (3) 外国語の基礎的な運用技能を持つ者
- (4) 外国語学部で学ぶ強い目的意識を持つ者
- (5) 高等学校時代の学習及び諸活動において顕著な成果を挙げた者

経済学部

国際性と倫理性を備え国際社会に貢献し得る人材を育成するという理念のもとに、経済学・経営学に関する基礎的専門力を備えた人材、すなわち国際公共人を育成するという本学部の教育目標を達成させるため、以下の知識・能力・態度を身に付けている者を求め、受け入れます。

- (1) 「知徳一体」の教育理念を理解し、関心を持つ者
- (2) 経済学部の学習内容を理解し、関心を持つ者
- (3) 経済学部での学習に必要な基礎的知識を持つ者
- (4) 情報・簿記等の基礎的な運用技能を持つ者
- (5) 経済学部で学ぶ目的意識の強い者
- (6) 高等学校時代の学習及び諸活動において成果を挙げた者

経済学部の具体的な学習内容とは、5つの専攻での学びやデータサイエンスプログラムでの学びなどのことです。

経済学部で学ぶ目的意識が強いとは、以下に示した内容を学ぼうとする意欲があることです。

1. 情報技術、数理的手法、コミュニケーション能力などを活用して、問題の解決に取り組む意欲
2. 探究心を持って情報収集し、自らの考えを論理的に構成し、適切な表現で発表したり論述したりする意欲
3. 他の人々と協調してグループワークやボランティア活動を行い、相互理解を図ろうとする意欲
4. スポーツを通じて、豊かな活力のある社会を形成する意欲
5. 独創性があり、新しいことに挑戦しようとする意欲

2 各学部の学修の特長、目的

各専攻の3つの特長をご紹介します。詳細は「麗澤大学 GuideBook2023」をご覧ください。

国際学部

国際学部には2学科3専攻があります。

国際学科

● 日本学・国際コミュニケーション（JIC）専攻

1. 私たちの国“日本”をあらゆる角度から学びます

グローバル社会で活躍するためには他者を理解することが不可欠で、そのためにはまず自分自身を知る必要があります。世界の視点から、改めて日本の文化・言語・社会などを学びます。

2. 留学生とともに学ぶクラス編成。多文化共生を体験できます

異なる言語・文化・価値観を持つ留学生と同じクラスでディスカッションを重ねることで、多文化共生を自然に学んでいきます。将来、飛び込むことになる実社会の縮図をいち早く体験します。

3. 日本語と英語での「発信力」をつけていきます

英語力をつけるのはもちろんですが、実は日本人にとっても大事なのが日本語による発信力。日本語で効果的かつ論理的に伝える力を徹底的に鍛えていきます。

● 国際交流・国際協力（IEC）専攻

1. 課題を見つけ、対策を立て、実践する力が身につきます

1年次からSDGsや地球規模の問題を取り上げ、グループワークを通じて解決すべき課題を学生が自ら見極め、対策を立て、かつ実践する力を養います。

2. Think and Act をモットーに、国内外で多彩な活動を行います

国内の国際協力イベントや、フィリピン、ネパール、ミクロネシアといった世界の国や地域の貧困、教育などの問題をテーマに、学生が自ら企画した国際協力活動を実施することができます。

3. 3年次から専門性の高い2コースに分かれます

3年次から多文化共生および国際協力の2コースに分かれ、卒業後の多彩な進路に対応する専門性を身につけます。

グローバルビジネス学科

● グローバルビジネス専攻

1. 多文化社会で共生するための論理的思考力と共創力を身につけます

グローバル課題の解決に求められる論理的な思考力と共創力を、経営学・会計学・経済学・政治学などの幅広い専門分野の学修を通して養います。

2. グローバル人材としてのコミュニケーション力を高めます

学問に裏打ちされた真のコミュニケーション力を、1年次の全員留学（English Summer Seminar）、2年次以降のリーダーシップ教育や海外提携校との共同授業、交換留学で身につけます。

3. 国内・海外でビジネスの実践力を養います

授業や資格取得を通じてグローバルビジネスの基礎知識を習得し、グローバルリーダー海外研修や海外インターンシップで企画力や交渉力などの実践力を身につけます。

外国語学部には1学科4専攻があります。

外国語学科

● 英語コミュニケーション専攻

1. 週6コマ英語漬けのカリキュラムで4技能を向上

1・2年次に週6コマの英語の演習があり、英語の4技能「聞く」「読む」「話す」「書く」を徹底的に鍛えます。3年次からは身につけた英語の技能を使って各自が興味のある研究を進めます。

2. 社会人に必要なプレゼンテーション力が身につきます

授業の中心は少人数グループによる英語でのディスカッションとプレゼンテーション。情報収集・分析の方法から相手に理解してもらうための論理の展開方法、英語での伝え方まで学びます。

3. 航空・観光業界のホスピタリティを経験者から学びます

ANA総合研究所との提携科目「Introduction to Hospitality」「Advanced Hospitality Studies」で、航空業界の経験者である講師から、業界問わず世界に通用するホスピタリティを学びます。

※英語・リベラルアーツ専攻の学生も履修可能。

● 英語・リベラルアーツ専攻

1. 3本柱のカリキュラムのもと、英語で発信する力を身につけます

英米などの歴史と文化を総合的に学ぶ「地域研究」、映画・音楽・ニュースなどの様々なメディアを扱う「文化研究」、ネイティブ教員による「オールイングリッシュ・クラス」がカリキュラムの3つの柱です。

2. 海外と自国の文化を理解し、真のグローバル人材に

海外の情報に触れ、社会・文化・歴史・テクノロジー・国際関係など、多様な文化を学ぶことで異文化理解と自国の文化への理解が深まり、真のグローバル人材へと成長できます。

3. 海外留学で語学力だけでなく行動力も向上

英語力の伸びを実感できる2年次秋 semester～3年次春 semesterに、希望の大学に留学。語学だけでなく、現地の文化や社会を肌で感じることで多くのことを学び、自主性や積極性を養います。

● ドイツ語・ヨーロッパ専攻

1. 留学率90%以上！日本有数の実績を誇るドイツ語教育専攻です

本専攻の学生の留学率は90%以上。短期留学や旅行も含めると、ほぼ100%の学生が一度はドイツに滞在します。現地にはドイツ・EU圏で活躍する本学の卒業生によるネットワークがあります。

2. ネイティブ教員の生のドイツ語に触れ、会話力を鍛えます

1・2年次に週5コマのドイツ語の授業があります。教科書を使わずグループワークを中心とした授業で、ディスカッションやプレゼンテーションもドイツ語で行い、卒業までにドイツ語検定(Goethe-Zertifikat) B2の合格を目指します。

3. 相乗効果で英語力も向上します

プロジェクトやドイツ語圏でのインターンシップなどを経験し、実社会で使えるように語学力を鍛えます。ドイツ語の上達とともに英語力の向上も期待できます。

● 中国語・グローバルコミュニケーション専攻

1. マンツーマンに近い授業で中国語の「口と耳」を鍛えます

入学時から、週 5 コマの中国語演習の授業で発音・リスニングの基礎を徹底して身につけます。2 年次からは中国語のみで行う授業もあり、実践的な語学力を磨いていきます。

2. 世界の問題に取り組むために不可欠な中国・台湾への理解を深めます

ビジネス、環境問題、人々の暮らしなど、どの領域でもグローバルな視点が必要となっています。中国、台湾、そしてアジアの歴史や現状、その国の考え方を学び、これからの時代を考える力を鍛えます。

3. 英語も含めたトライリンガルを目指せます

中国語と同時に、英語も 4 年間を通じて学べる環境があります。留学先では中国語とともに英語力の向上を目指すことが可能です。また、フィールドワークやインターンシップへの参加を通じて、失敗と成功の経験を重ねながら、タフに生きる力を磨きます。

経済学部

経済学部には 2 学科 5 専攻があります。

経済学科

● 経済専攻

1. 「経済学」に基づいた問題解決力を養います

経済問題はもちろんのこと、“ありとあらゆる”社会課題を経済学のアプローチによって分析します。論理的、多角的な思考能力を養います。

2. 「冷静な頭脳と道徳心」を磨きます

データや理論にもとづき客観的・冷静に物事をとらえる力と、温かい心で社会問題の解決に取り組むための高い道徳心を磨きます。

3. ワークショップ型の授業で仲間と高め合えます

1 年次から少人数のグループワークを用意しています。与えられた経済問題や社会課題などのテーマについて、仲間とともに議論し、企画を立て、発表することで、社会で通用するプレゼンテーション力を身につけます。

● 観光・地域創生専攻

1. 本格的な観光・地域創生プロジェクトに 1 年次から取り組みます

1 年次から現実の地域課題の解決に取り組む「麗澤・地域連携実習」がスタート。現地調査、自治体や企業への取材・企画提案を実際に行うことで、実践力を磨きます。

2. 「観光」「地域創生」を経済学の視点からとらえます

人口減少・超高齢社会、グローバル社会の中での地域のあり方や地域観光の課題を経済学の視点から分析します。広い視野で論理的に考える能力を身につけます。

3. データサイエンスを用いた問題解決力を身につけます

データサイエンスを学ぶことで、地域や観光業が抱える様々な課題を、エビデンス（証拠）に基づき、客観的に分析できるようになります。どんな業界に進んでも役立つ学びです。

経営学科

● 経営専攻

1. デザイン思考により、企業価値をつくり出す力を磨きます

デザイン思考*を用いて、社会的な課題や企業の課題などを分析して、それらを解決するための方策を考えます。具体的にはデザイン思考で経営戦略をつくり、マネジメントして、企業価値を創造できる力を身につけます。

※デザイン思考：これまでのビジネスの延長線上にないような、全く新しい製品やサービス、ビジネスなどをつくる方法。

2. 企業とのプロジェクトで実践的な経営が学べます

1年次の「基礎ゼミナール」や2年次の「ビジネスリサーチ」「ビジネスデザイン」、3年次の「ビジネスイノベーションプロジェクト」では、企業と連携して、商品開発やビジネスモデル・プランの構築、経営課題の分析・改善策の立案などに取り組みます。その成果を企業の担当者にプレゼンテーションします。

3. 授業を通して経営学検定や簿記、FP 技能士の資格を取得できます

「経営学検定」「日商簿記」「ファイナンシャル・プランニング (FP) 技能士」などの資格取得を支援します。これらの資格はどんな業界・企業・団体でも役立ちます。

● AI・ビジネス専攻

1. AIを理解し、AIを活用できる人材を目指します

AIの原理を学び、今後AIがどのようにビジネスに関わってくるのか、ビジネスにおいて効果的に活用するにはどうすればよいのかを、授業やPBL（課題発見解決型学習）などを通じて学びます。

2. どんな業界・企業にも必要な会計について学びます

あらゆる業界・企業に必要な「会計」について学び、卒業までに「日商簿記」「ファイナンシャル・プランニング (FP) 技能士」などの資格取得を目指します。

3. AI開発に使われるプログラミング言語を習得します

AI開発のプログラミング言語として、もっとも活用されている「Python (パイソン)」や機械学習、データベース技術を学び、IT系の資格取得も視野に入れます。

● スポーツビジネス専攻

1. スポーツビジネスに必要な3つの力を養成します

クラブやイベントを運営するための「経営力」、参加者や運営スタッフと良い人間関係が築ける「人間力」、スポーツ医科学の知識と指導技術を備える「スポーツ力」の3つの力を養成します。

2. スポーツ系の資格を取得し、即戦力を目指します

専攻が推奨する資格として、(公財)日本スポーツ協会公認の「スポーツリーダー」「アシスタントマネージャー」の2資格、ほかに日本レクリエーション協会公認の資格などがあります。

3. プロクラブや企業の課題に解決策を提案します

Jリーグやプロ野球団、スポーツ用品メーカーなどから提示された課題に対し、解決策を企画・提案するPBL（課題発見解決型学習）やスポーツ選手、プロスポーツチームスタッフなどによる特別講義があります。

3 募集学部・学科・専攻および募集人員

国際学部

入試区分	学科・専攻	国際学科		グローバルビジネス学科
		日本学・国際 コミュニケーション 専攻	国際交流・ 国際協力専攻	グローバルビジネス専攻
総合型選抜【課題プレゼン型Ⅰ期】 (専願型)		約 10 名		約 10 名
総合型選抜【課題プレゼン型Ⅰ期】 (併願型)		若干名		若干名
総合型選抜【課題プレゼン型Ⅲ期】		約 2 名		約 2 名
総合型選抜【基礎学力型Ⅰ期】 (専願型)		約 5 名		約 5 名
総合型選抜【基礎学力型Ⅰ期】 (併願型)		若干名		若干名
総合型選抜【面接型】		約 5 名		約 5 名
総合型選抜【基礎学力型Ⅱ期】		若干名		若干名

外国語学部

入試区分	学科・専攻	外国語学科			
		英語 コミュニケ ーション 専攻	英語・ リベラル アーツ 専攻	ドイツ語・ ヨーロッパ 専攻	中国語・グローバル コミュニケーション 専攻
総合型選抜【課題プレゼン型Ⅰ期】 (専願型)		約 25 名			
総合型選抜【課題プレゼン型Ⅰ期】 (併願型)		若干名			
総合型選抜【グループディスカッション型】		約 5 名			
総合型選抜【基礎学力型Ⅰ期】 (専願型)		約 20 名			
総合型選抜【基礎学力型Ⅰ期】 (併願型)		若干名			
総合型選抜【面接型】		約 15 名			
総合型選抜【基礎学力Ⅱ期】		若干名			

入試区分	学科・専攻		経営学科		
	経済専攻	観光・地域創生専攻	経営専攻	AI・ビジネス専攻	スポーツ・ビジネス専攻
総合型選抜【課題プレゼン型Ⅰ期】 (専願型)	約 20 名		約 20 名		
総合型選抜【課題プレゼン型Ⅰ期】 (併願型)	若干名		若干名		
総合型選抜【基礎学力型Ⅰ期】 (専願型)	約 5 名		約 5 名		
総合型選抜【基礎学力型Ⅰ期】 (併願型)	若干名		若干名		
総合型選抜【面接型】	約 5 名		約 5 名		
総合型選抜【基礎学力型Ⅱ期】	若干名		若干名		

4 総合型選抜 選抜要項

総合型選抜【課題プレゼン型 I 期】（専願型／併願型）

■試験日程

出願期間	試験日	合格発表	入学手続期限
2022年9月1日（木） ～ 10月5日（水） （消印有効）	10月22日（土）	11月1日（火） 午前10時	【専願型】 11月15日（火）（消印有効）
			【併願型】 12月1日（木）（消印有効）

■選考方法（国際学部・外国語学部）

選考方法		時間	配点	総合点
書類（出願時）	調査書・志望理由書 ^{※1} ・付属資料により総合的に審査を行う。	-	50点	150点
プレゼンテーション	テーマに基づいたプレゼンテーションを行う。	10分	50点	
面接 ^{※2}	アドミッション・ポリシーについての理解と「プレゼンテーション」・「志望理由書」に関する質疑応答を含む面接を行う。	20分	50点	

※1 外国語学部に出願する場合は、志望理由書①及び②を提出してください。国際学部に出願する場合は、志望理由書①のみ提出してください。

※2 外国語学部の面接は、英語コミュニケーション専攻、英語・リベラルアーツ専攻の2専攻は日本語と英語で、その他の2専攻は日本語で行います。

●**英語・リベラルアーツ専攻、中国語・グローバルコミュニケーション専攻、ドイツ語・ヨーロッパ専攻**は、外国語の評定平均値が3.3以上、または以下のいずれかの資格を取得している場合、書類審査にてスコアに応じて評価対象とします。

資格・検定試験等		
①	実用英語技能検定（CBT含む）	準2級以上
②	TOEIC [®] （IP含む）	350点以上（L&R）、585点以上（L&R+S&W）
③	TOEFL [®]	iBT35点以上、ITP417点以上
④	GTEC（CBT含む）	750点以上
⑤	国際連合公用語英語検定試験	C級以上
⑥	TEAP	220点以上
⑦	IELTS	アカデミックモジュール3.5以上
⑧	ドイツ語の資格 （ドイツ語・ヨーロッパ専攻のみ）	<ul style="list-style-type: none"> ・ドイツ語技能検定4級以上 ・Goethe-Zertifikat A1:Start Deutsch 1以上 ・高等学校の正規の「ドイツ語」の授業で評定平均値4.0以上

※実用英語技能検定以外の資格の取得日は、出願締切日から遡って2年以内に限りです。

※TEAPは同一試験日のスコアの合計点に限りです。

■選考方法（経済学部）

選考方法		時間	配点	総合点
書類（出願時）	指定したテーマに対するレポート（800～1,200字）・調査書・志望理由書・付属資料により総合的に審査を行う。	-	50点	150点
プレゼンテーション	提出したレポートについてのプレゼンテーションを行う。	10分	50点	
面接	アドミッション・ポリシーについての理解と「プレゼンテーション」・「志望理由書」に関する質疑応答を含む面接を行う。	20分	50点	

※経済学部主催のワークショップに参加した者は、「書類審査」の加点対象となります（最大15点加点）。複数回参加した者は最も評価の高かった加点分を採用します。参加したコース（専攻）と出願される専攻が同一でなくても加点されます。ワークショップに参加した者は「修了証」（コピー可）を出願時に提出してください。参加した場合でも修了証が未提出の場合は加点されません。
 ワークショップ開催日：7月17日（日）、8月7日（日）、8月21日（日）
 ・詳細は麗澤大学ホームページ又は出願書類にある「ワークショップの案内資料」を確認してください。

■プレゼンテーションの実施方法について

27頁を参照してください。

■時間割

10：00～※	プレゼンテーション終了後
プレゼンテーション	面接

※各自の集合時間については、出願期間終了後にメールで通知します。

■出願条件

次の4つの条件をすべて満たす者

(1) 次のいずれかに該当する者

- ① 高等学校または中等教育学校を卒業した者または2023年3月卒業見込みの者
- ② 通常の課程による12年の学校教育を修了した者および2023年3月修了見込みの者
- ③ 学校教育法施行規則第150条の規定により高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者および2023年3月31日までにこれに該当する見込みの者

(2) アドミッション・ポリシーを了承した者

(3) 合格後は入学を確約できる者（専願型のみ）

(4) **外国語学部英語コミュニケーション専攻**の出願は、次のいずれかの資格を取得している者

資格・検定試験等		
①	実用英語技能検定（CBT含む）	2級以上
②	TOEIC®（IP含む）	425点以上（L&R）、660点以上（L&R+S&W）
③	TOEFL®	iBT43点以上、ITP443点以上
④	GTEC（CBT含む）	870点以上
⑤	国際連合公用語英語検定試験	C級以上
⑥	TEAP	240点以上
⑦	IELTS	アカデミックモジュール4.0以上

※実用英語技能検定以外の資格の取得日は、出願締切日から遡って2年以内に限りま
 ※TEAPは同一試験日のスコアの合計点に限りま

■その他

出願書類および試験会場については、25頁「出願書類一覧」、38頁「試験会場案内」を確認してください。

■課題テーマ

○国際学部、外国語学部を志望する場合

⇒レポートの事前提出は必要ありません。志望する専攻の指定したテーマ、説明文に従ってプレゼンテーション資料を作成し、試験当日に発表してもらいます。テーマが複数指定されている場合は、ひとつを選んでください。

○経済学部を志望する場合

⇒レポート（800～1,200字）の事前提出が必要です。志望する専攻の指定したテーマ、説明文に従ってレポートを作成してください。テーマが複数指定されている場合は、ひとつを選んでください。

※経済学部のレポート作成については、28頁「課題レポート作成要領（総合型選抜【課題プレゼン型】）」を確認してください。

国際学部

日本学・国際コミュニケーション（JIC）専攻

“足元”の国際化・グローバル化

「グローバル」あるいは「国際」といった言葉で語られる問題は、決して海外だけで起こっているわけではありません。我々の身近な日常の中で起きている「国際化・グローバル化」にまつわる社会問題を具体的に提起し、その対策・解決策を提案しなさい。

以下の3点に留意すること。

- ①具体的に提起する社会問題は、新聞報道（WEB版も含む）からの引用の形をとり、その出典（新聞名、発行日、版、ページなど。WEB版の場合は、閲覧日も）を明記すること。
- ②国際学部の学びの特徴である「人文科学 Humanities」（日本文化研究、コミュニケーション論、多文化共生など）と「社会科学 Social Science」（国際関係、国際地域研究、経済・ビジネスなど）をつなぐかたちで考察・提案をすること。なお、国際学部の学びについては本学WEBサイトなどを参照すること。
- ③提起する新聞報道、あるいは、提案する対策・解決策が、何らかの点で自分自身の生活体験や身の周りの出来事と結びついていること。

国際交流・国際協力（IEC）専攻

今日、より良い社会や世界をつくるために、様々な努力や問題解決のための試みがなされています。その試みの基礎にあるのは、国際交流や協力などを通じて、他人や他国を知り共感することによって、理解し合い信頼感を作り上げることです。

これに関して、次の3つのテーマから、ひとつ選びなさい。

- | | |
|-----------------------------|---|
| ①SNSが政治活動・市民活動に与える影響 | 情報通信手段の発達によって、人々をつなぐ様々なSNS（ソーシャルネットワークワーキングサービス）が登場しました。それらが政治活動や市民活動に与えた影響について、近年の国際社会の情勢と照らし合わせながら論じなさい。 |
| ②非政府組織（NGO）の活動について | 日本には「信頼で世界をつなぐ」（国際協力機構）、「日本の友人を増やし、世界との絆をはぐくむ」（国際交流基金）をビジョンとする政府機関があります。一方で様々な非政府組織（NGO）も活発な活動を繰り広げています。これらに関して、もしあなたが参加するとしたら、どのような団体にどのような貢献をすることができるか、そのビジョンを考え、論じなさい。 |

<p>③SDGs 達成に向けた 実行プラン</p>	<p>今日の世界では地球規模の課題が山積しており、先進国・途上国を問わず「持続可能な開発目標（SDGs）」に取り組む必要性があります。一方で自国第一（自国ファースト）の考え方も広がっており、国際社会全体としての取り組みが思うように進まない現状もあります。このような状況に対してあなたがどう思い、仮にあなたが国連事務総長だったら世界の国々にどのような働きかけを行うか提案しなさい。</p>
<p>グローバルビジネス専攻</p>	
<p>次の3つのテーマからひとつを選択し、a) 問題の概要について具体例を交えながら説明するとともに、b) 問題に対する解決策について自身の経験や関心を踏まえて論じなさい。なお、解決策を考えるにあたっては、いかに「本学国際学部での学び」が、「自身の卒業後の将来」へとつながるかを念頭に置きながら、自身が社会に対してどのように貢献したいか、という観点から論じなさい。</p>	
<p>①経済のグローバル化 と人権侵害の関係を 考える</p>	<p>経済がグローバル化するにつれ、取引のネットワークは国境を越えて拡大するようになります。たとえば、アフリカで採取された資源をもとに、アジアの製造工場で製品を組み立て、それらを北米やヨーロッパで販売することもあります。しかし、一部の地域では、資源の採取過程や製品の製造工程において、強制労働や児童労働など、深刻な人権侵害が起きています。劣悪な労働環境で、超過労働を強要されている人々もいます。先進国の企業としては、こうした問題から目を背けずに、正しいビジネスのあり方を模索していく必要があります。</p>
<p>②多文化共生の支援を ビジネスの視点から 考える</p>	<p>日本では、少子高齢化と総人口減少により、組織における人材不足問題が深刻化しています。その対応策として、政府による女性の社会進出やシニアの活躍支援、AIによる業務の効率化、そして海外人材の受け入れが急速に進められています。異なる文化的背景を持つ人々が、社会や組織の中で共存共栄していくには、そこに参加する人々が、互いに協力し問題に向き合うことが重要です。</p>
<p>③技術革新と金融の関 係を考える</p>	<p>膨大な情報の蓄積と様々な技術革新の融合は、市場に参加する個人や企業の結びつきを強めながら、あらゆる側面で我々とお金の「関係」に革新をもたらしています。その結果、日常的に繰り返される決済から長期の資産運用まで、幅広い分野において利便性が向上しています。しかし、このような技術も、使い方を誤れば悪質な経済犯罪につながることもあれば、取引の規模とスピードを飛躍的に向上させることで経済の安定性を損なう可能性もあります。技術の進歩に対応する形での、金融に対する新たな向き合い方が、我々の社会に求められています。</p>

英語コミュニケーション専攻

以下のテーマについてリサーチを行い、日本語または英語でプレゼンテーションしてください（質疑は一部英語で行います）。

異文化間のどのような違いによって、コミュニケーション上の問題が生じるのでしょうか（言語の違いを除く）。自分がより良い異文化間コミュニケーションになるためにはどうすれば良いのでしょうか。

What kinds of cultural differences (besides language) can lead to problems in intercultural communication? How can you become a better intercultural communicator?

英語・リベラルアーツ専攻

以下のテーマについてリサーチを行い、日本語または英語でプレゼンテーションしてください（質疑は一部英語で行います）。

英語圏の国をひとつ選んでください。あなたがその国を訪問するときに重視する、その国のいくつかの文化的・社会的特徴とその理由を述べてください。他の国の特徴と比べても構いません。

Please choose one English-speaking country and describe the cultural and social characteristics of that country that would be important to you when you visit that country and why. You may compare them to those in other countries.

ドイツ語・ヨーロッパ専攻

気候変動、大気汚染、海洋・水質汚染、土壌汚染、森林破壊などの、いわゆる環境問題について、ドイツとヨーロッパの任意の2カ国（計3カ国）を取り上げ、それぞれの国で実施されている先進的な対策を紹介してください。また、日本でも同様の対策を行うために必要なことを、行政・企業・住民の3つのレベルに分け、考察してください。

中国語・グローバルコミュニケーション専攻

英語と中国語を習得することによって、世界各地のさまざまな人とのコミュニケーションが可能になります。まず、あなたが注目する「中国語と英語を話せる人」を1~3人選び、その人（人々）を紹介し、かつ、なぜ注目したかを説明してください。次に、数年後にあなたが中国語と英語を習得した際に、その人にインタビューをするとしたら、どのようなことを聞きたいかを具体的に提案してください。

経済学部

経済学部共通テーマ、または各専攻別テーマからひとつ選んでください。

経済学部共通

SDGs（持続可能な開発目標）の取組みに関するアイデアの提案

2015年9月、国連サミットにおいて、国際社会が目指す共通目標であるSDGsが採択されました。SDGsは、17の目標と169のターゲットから構成されており、これらを2030年までに実現させることを目指しています。そこで、企業や行政組織（国、自治体など）がSDGsに取り組み、その目標を達成し、実現させるにはどうすればよいのかを検討して、具体的なアイデアを提案してください。なお、本課題に取り組む際に、SDGsの17の目標からひとつ選択して、検討してください。

志望する学科・専攻の特色に沿ったアイデアを検討してください（以下参照）。

経済学科	経済専攻	SDGsに関連した課題を解決するためには、人々や企業の意識・行動の変化が必要です。政府や専門機関、大学などの教育機関は、国民や企業の <u>どのような意識や行動を、どのような方法で変化させることができるでしょうか</u> 。具体的な提案をしてください。
	観光・地域創生専攻	人口規模が小さい市町村ほど、今後の人口減少率が高く、現在のような行政サービス（学校や病院の運営、道路や橋などの建設）を維持することが困難となることが予想されています。あなたの住む地域はどうでしょうか？人口が減少していく中で、あなたが住む地域が今後も快適で便利であるために、必要となる政策を提案してください。
経営学科	経営専攻	1. SDGsに関連した課題を解決するためのビジネスプラン、経営組織づくり。自分が10年後に実際にすることを想定して考えてください。 2. 保護者や親戚の方が自営業をしている場合、SDGs視点でその事業をアップデートするビジネスプランを提案してください。
	AI・ビジネス専攻	SDGsに関連した課題を解決するためのAI、データサイエンス、アプリの活用法を提案してください。
	スポーツビジネス専攻	スポーツの持つ、人々を集める力や人々を巻き込む力を活用したSDGsに関連した課題を解決するためのスポーツビジネスプランを提案してください。

経済専攻

「人生100年時代」といわれるように、私たちが100歳を超えて生きることが当たり前になるかもしれません。一方で、長寿化に伴い年金・医療・介護にかかる社会保障費は増加の一途をたどっており、国の財政の大きな負担となっています。どの国も経験したことのないような長寿化のもとで、今までにはなかった社会課題が発生することも想定されます。

そこで、国民の人生設計、国の財政運営、企業活動などにおいて、今後起きるであろう社会課題を自由に設定し、それらの課題を解決するための具体的な施策を提案し、論じてください

観光・地域創生専攻

コロナ禍により、海外からの観光客は蒸発しました。コロナ禍が収まれば徐々に観光客は戻ってくると期待できますが、見通しは立っていません。このような状況で観光業界は、移動に制約のある中での新しいタイプの様々な観光を提案し始めています。オンラインを活用したバーチャル観光はその典型ですが、単なる映像配信ではYouTubeなどで見られる動画と変わらないので、面白くありませんし、わざわざお金を払う人も少ないでしょう。バーチャル観光には、実際に観光した気分になれる工夫が必要で、各社がリアル感を生み出すための様々な工夫をしています。そうした事例を調べて、面白いバーチャル観光を企画してください。海外の人が利用したくなるような企画であると、マーケットが一気に広がるので良いと思います。

経営専攻

これまでマスメディアと言えばテレビ・新聞・ラジオなどが一般的であり、多くの事業会社はこうしたメディアに広告を出すことが一般的でした。しかし、現在では多くのメディア（YouTube、Twitter、TikTok など）があり、こうした新たなメディアの利活用が求められています。

そこで、「20代女子をターゲットとした、新たな健康的で満足感の高いヨーグルト」を販売するにあたり、インフルエンサーにPRを依頼することを想定し、「どのインフルエンサーに」「どのような内容で」PRを依頼するかのプロモーション企画案を作成してください。立案した企画案をもとに、なぜそのインフルエンサーに依頼するのが良いのか、そして、なぜその内容がターゲットの心をつかむのかを論じてください。

※「健康的で満足感の高い」の意味はあなた自身で定義してください。細かくは指定しません。

日本のファミリービジネスは全法人企業の97%を占めると言われています。そこで、デジタル技術の活用やビジネスモデルのアップデートなどをキーワードとして、ファミリービジネスを革新する企画案を作成し、その有用性について論じてください。なお、企画案を作成する際には、ファミリービジネスの伝統や強み、弱みなどを考慮して、その有用性を検討してください。

※SDGsを切り口とする場合は学部共通テーマでエントリーをしてください。

AI・ビジネス専攻

これからの社会では、自ら課題を見つけ、AIやスマホアプリを活用することで課題を解決する力が重要になってきます。あなたが使っている様々なスマホアプリも課題を解決するためのひとつの手段です。そこで、あなたに関心のある社会課題やビジネス課題をひとつ取り上げ、それを解決するスマホアプリのアイデアを提案してください。どのような課題を解決するのかを明記し、スマホアプリの概要を図などを使って説明してください。

スポーツビジネス専攻

スポーツビジネスに関わる組織（会社）には、主に①プロ野球やプロサッカーなどプレイを見てもらうことを商品とする組織、②スポーツで使われるモノやサービスを提供する組織、③スポンサーなどを通じてスポーツを活用する組織（たとえば、テレビ中継のスポンサーとなって自社の商品をPRする会社）など多岐に渡ります。スポーツビジネスで成功していると思う組織を取り上げて、その組織がなぜ成功しているのか、新聞や雑誌などの情報を用いて事実を整理した上で分析し、論じてください。

■試験日程

出願期間	試験日	合格発表	入学手続期限
2022年11月21日(月) ～12月12日(月) (消印有効)	12月18日(日)	12月23日(金) 午前10時	2023年1月20日(金) (消印有効)

■選考方法

選考方法		時間	配点	総合点
書類(出願時)	指定したSDGsのテーマに対するレポート(800～1,200字)・調査書・志望理由書 ^{※1} ・付属資料により総合的に審査を行う。	-	50点	150点
プレゼンテーション ^{※2}	SDGsに関するレポートについてのプレゼンテーションを行う。	10分	50点	
面接	アドミッション・ポリシーについての理解と「プレゼンテーション」・「志望理由書」に関する質疑応答を含む面接を行う。	20分	50点	

※1 志望理由書①を記入してください(志望理由書②は不要です)。

※2 「プレゼンテーション」は、出願書類のひとつとして提出したレポートにもとづく発表を行います。

■プレゼンテーションの実施方法について

27頁を参照してください。

■時間割

10:00～ [※]	プレゼンテーション終了後
プレゼンテーション	面接

※各自の集合時間については、出願期間終了後にメールで通知します。

■出願条件

次の3つの条件をすべて満たす者

(1) 次のいずれかに該当する者

- ① 高等学校または中等教育学校を卒業した者または2023年3月卒業見込みの者
- ② 通常の課程による12年の学校教育を修了した者および2023年3月修了見込みの者
- ③ 学校教育法施行規則第150条の規定により高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者および2023年3月31日までにこれに該当する見込みの者

(2) アドミッション・ポリシーを了承した者

(3) 合格後は入学を確約できる者

■その他

出願書類および試験会場については、25頁「出願書類一覧」、38頁「試験会場案内」を確認してください。

■課題テーマ

SDGs の 17 の目標のうち、関心のあるものをひとつ以上選び、各専攻（日本学・国際コミュニケーション専攻、国際交流・国際協力専攻、グローバルビジネス専攻）の学びとつなぎながら、課題達成に向けた施策を提示しなさい。なお、その際には、SDGs の前文（Preamble）で示される考え方に十分留意すること。

説明文に従ってレポートを作成してください。

※レポート作成については、28 頁「課題レポート作成要領（総合型選抜【課題プレゼン型】）」を確認してください。

総合型選抜【グループディスカッション型】※外国語学部のみ

■試験日程

出願期間	試験日	合格発表	入学手続期限
2022年11月21日(月) ～12月12日(月) (消印有効)	12月18日(日)	12月23日(金) 午前10時	2023年1月20日(金) (消印有効)

■選考方法

選考方法		時間	配点	総合点
書類(出願時)	調査書・志望理由書 ^{※1} ・付属資料により総合的に審査を行う。	-	50点	150点
グループディスカッション	指定したテーマに対するグループディスカッションを行う。	25分	50点	
面接 ^{※2}	アドミッション・ポリシーについての理解と「志望理由書」に関する質疑応答を含む面接を行う。	8分	50点	

※1 志望理由書①及び②を提出すること。

※2 面接は、英語コミュニケーション専攻、英語・リベラルアーツ専攻の2専攻は日本語と英語で、その他の2専攻は日本語で行う。

英語・リベラルアーツ専攻、中国語・グローバルコミュニケーション専攻、ドイツ語・ヨーロッパ専攻は、外国語の評定平均値が3.3以上、または以下のいずれかの資格を取得している場合、書類審査にて加点対象とする。

資格・検定試験等		
①	実用英語技能検定(CBT含む)	準2級以上
②	TOEIC [®] (IP含む)	350点以上(L&R)、585点以上(L&R+S&W)
③	TOEFL [®]	iBT35点以上、ITP417点以上
④	GTEC(CBT含む)	750点以上
⑤	国際連合公用語英語検定試験	C級以上
⑥	TEAP	220点以上
⑦	IELTS	アカデミックモジュール3.5以上
⑧	ドイツ語の資格 (ドイツ語・ヨーロッパ専攻のみ)	<ul style="list-style-type: none"> ・ドイツ語技能検定4級以上 ・Goethe-Zertifikat A1:Start Deutsch 1以上 ・高等学校の正規の「ドイツ語」の授業で評定平均値4.0以上

※実用英語技能検定以外の資格の取得日は、出願締切日から遡って2年以内に限りです。

※TEAPは同一試験日のスコアの合計点に限りです。

■グループディスカッションの実施方法について

- (1) 課題テーマの内容に基づき、3～4名程度を1グループとしてグループディスカッションをおこないます。
- (2) 基礎文献となる書籍を含め、資料やメモなどを試験会場に持ち込むことができます。ただし、PCやタブレット端末、携帯電話などの情報機器を持ち込むことはできません。
※基礎文献となる書籍については「課題テーマ」を参照のこと。
- (3) ディスカッション中にメモを取るための紙を配布します。筆記用具は各自用意してください。
なお、メモはディスカッション終了後回収します。
- (4) 試験教室内にホワイトボードとマーカーを用意します。必要に応じて使用してください。
- (5) ディスカッションは進行を含めグループのメンバーのみで行います。審査員は開始と終了の合図、および試験教室の設備の使用に関する対応のみを行い、ディスカッションには参加しません。
- (6) ディスカッションは最長25分とし、グループの結論がまとまらなかった場合でも、原則として制限時間で終了します。

■時間割

10:00～※	グループディスカッション終了後
グループディスカッション	面接

※各自の集合時間については、出願期間終了後にメールで通知します。

■出願条件

次の4つの条件をすべて満たす者

- (1) 次のいずれかに該当する者
 - ① 高等学校または中等教育学校を卒業した者または2023年3月卒業見込みの者
 - ② 通常の課程による12年の学校教育を修了した者および2023年3月修了見込みの者
 - ③ 学校教育法施行規則第150条の規定により高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者および2023年3月31日までにこれに該当する見込みの者
- (2) アドミッション・ポリシーを了承した者
- (3) 合格後は入学を確約できる者
- (4) 英語コミュニケーション専攻は、次のいずれかの資格を取得している者

資格・検定試験等		
①	実用英語技能検定 (CBT 含む)	2級以上
②	TOEIC® (IP 含む)	425 点以上 (L&R)、660 点以上 (L&R+S&W)
③	TOEFL®	iBT43 点以上、ITP443 点以上
④	GTEC (CBT 含む)	870 点以上
⑤	国際連合公用語英語検定試験	C 級以上
⑥	TEAP	240 点以上
⑦	IELTS	アカデミックモジュール 4.0 以上

※実用英語技能検定以外の資格の取得日は、出願締切日から遡って2年以内に限ります。

※TEAPは同一試験日のスコアの合計点に限ります。

■その他

出願書類および試験会場については、25 頁「出願書類一覧」、38 頁「試験会場案内」を確認してください。

■課題テーマ

労働人口が減少している現代日本における外国人受け入れの現状や課題を踏まえ、外国人と日本人が協力して未来を築くために皆さんが今すべきことは何か、グループで意見をまとめてください。

ディスカッションのための共通の基礎文献として、芹澤健介著『コンビニ外国人』（新潮新書、2018 年）を事前に読んでおいてください。この文献で紹介されている具体的な事例や、様々なレベルで試みられている取り組みを参考にして、ディスカッションの際、自分の考えを説明できるようにしておくこと。

総合型選抜【基礎学力型Ⅰ期】（専願型／併願型）

■試験日程

出願期間	試験日	合格発表	入学手続期限
2022年9月30日（金） ～ 11月11日（金） （消印有効）	11月20日（日）	12月1日（木） 午前10時	【専願型】 12月15日（木） （消印有効）
			【併願型】 2023年1月20日（金） （消印有効）

■選考方法

選考方法	時間	配点	総合点
適性検査（英語※1、国語※2）	合わせて90分	各100点	200点

※1 英語の出題範囲はコミュニケーション英語Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ、英語表現Ⅰ・Ⅱ（リスニングテストはありません）。

※2 国語の出題範囲は国語総合（古文、漢文を除く）

■時間割

9：45～10：00	10：00～11：30*
諸連絡	適性検査（英語、国語）

※試験時間内に2科目を解答します。2科目の時間配分は自由です。

■出願条件

次の3つの条件をすべて満たす者

(1) 次のいずれかに該当する者

- ① 高等学校または中等教育学校を卒業した者または2023年3月卒業見込みの者
- ② 通常の課程による12年の学校教育を修了した者または2023年3月修了見込みの者
- ③ 学校教育法施行規則第150条の規定により高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者または2023年3月31日までにこれに該当する見込みの者

(2) アドミッション・ポリシーを了承した者

(3) 合格後は入学を確約できる者（専願型のみ）

■その他

出願書類および試験会場については、25頁「出願書類一覧」、38頁「試験会場案内」を確認してください。

総合型選抜【基礎学力型Ⅱ期】（専願型）

■試験日程

出願期間	試験日	合格発表	入学手続期限
2022年11月21日（月） ～ 12月12日（月） （消印有効）	12月18日（日）	12月23日（金） 午前10時	2023年1月20日（金） （消印有効）

■選考方法

選考方法	時間	配点	総合点
適性検査（英語※1、国語※2）	合わせて90分	各100点	200点

※1 英語の出題範囲はコミュニケーション英語Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ、英語表現Ⅰ・Ⅱ（リスニングテストはありません）。

※2 国語の出題範囲は国語総合（古文、漢文を除く）

■時間割

9：45～10：00	10：00～11：30*
諸連絡	適性検査（英語、国語）

※試験時間内に2科目を解答します。2科目の時間配分は自由です。

■出願条件

次の3つの条件をすべて満たす者

(1) 次のいずれかに該当する者

- ① 高等学校または中等教育学校を卒業した者または2023年3月卒業見込みの者
- ② 通常の課程による12年の学校教育を修了した者または2023年3月修了見込みの者
- ③ 学校教育法施行規則第150条の規定により高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者または2023年3月31日までにこれに該当する見込みの者

(2) アドミッション・ポリシーを了承した者

(3) 合格後は入学を確約できる者

■その他

出願書類および試験会場については、25頁「出願書類一覧」、38頁「試験会場案内」を確認してください。

総合型選抜【面接型】

■試験日程

出願期間	試験日	合格発表	入学手続期限
2022年9月30日(金) ～11月11日(金) (消印有効)	11月20日(日)	12月1日(木) 午前10時	12月15日(木) (消印有効)

■選考方法

選考方法		時間	配点	総合点
レポート※1 (出願時)	高校での活動・経験を大学入学後どのように活かせるか、学びに結び付けたいか志望理由と結び付けたレポートにより審査を行う。	—	50点	100点
面接※2	アドミッション・ポリシーについての理解と「レポート」に関する質疑応答を含む面接を行う。	20分	50点	

※1 レポートは800字～1,200字とする。レポート用紙は本学WEBサイトからダウンロードした本学所定用紙を用いてください。レポートの書き方については、共通事項(31頁「レポート作成要領(総合型選抜【面接型】)」を確認してください。

※2 外国語学部の面接は、英語コミュニケーション専攻、英語・リベラルアーツ専攻の2専攻は日本語と英語で、その他の2専攻は日本語で行います。

■時間割

10:00～※
面接

※各自の集合時間については、出願期間終了後にメールで通知します。

■出願条件

次の3つの条件をすべて満たす者

(1) 次のいずれかに該当する者

- ① 高等学校または中等教育学校を卒業した者または2023年3月卒業見込みの者
- ② 通常の課程による12年の学校教育を修了した者または2023年3月修了見込みの者
- ③ 学校教育法施行規則第150条の規定により高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者または2023年3月31日までにこれに該当する見込みの者

(2) アドミッション・ポリシーを了承した者

(3) 合格後は入学を確約できる者

(4) 指定したいいずれかの条件、資格を満たしている者

学部	学科	選考	出願条件
外国語学部	外国語学科	英語コミュニケーション専攻	全体評定平均値：3.5以上 かつ外国語の評定平均値:3.8以上 ※外国語の評定平均値が満たない場合は、外部資格試験のスコアで代替可能とする。

		英語・リベラルアーツ専攻	全体評定平均値：3.3以上 かつ外国語の評定平均値:3.5以上 ※外国語の評定平均値が満たない場合は、外部資格試験のスコアで代替え可能とする。
		ドイツ語・ヨーロッパ専攻	
		中国語・グローバルコミュニケーション専攻	
経済学部	経済学科	経済専攻	全体評定平均値：3.1以上
		観光・地域創生専攻	
	経営学科	経営専攻	
		AI・ビジネス専攻	
	スポーツビジネス専攻		
国際学部	国際学科	日本学・国際コミュニケーション専攻	全体評定平均値：3.0以上
		国際交流・国際協力専攻	
	グローバルビジネス学科	グローバルビジネス専攻	

外国語の評定平均値の代替え条件[外部資格試験]

- 実用英語技能検定2級以上 (CBT含む)
- TOEIC®またはTOEIC® IP 425点以上(L&R)、L&R+S&Wの場合は660点以上
- TOEFL iBT®43点、またはTOEFL ITP® 443点以上
- GTEC870点以上(CBT含む)
- 国際連合公用語英語検定試験C級以上
- TEAP240点以上
- IELTS アカデミックモジュール 4.5以上

■その他

出願書類および試験会場については、25頁「出願書類一覧」、38頁「試験会場案内」を確認してください。

共通事項

出願書類一覧

出 願 書 類	総合型選抜	
	課題プレゼン型Ⅰ期	課題プレゼン型Ⅲ期 (国際学部のみ)
(1) 入学志願票	○	○
(2) 調査書等	○	○
(3) 課題レポート/レポート	○ (経済学部のみ)	○
(4) 志望理由書	○	○
(5) 付属資料	○	○
(6) 各種資格証明書	該当者	

出 願 書 類	総合型選抜			
	グループディスカッション型 (外国語学部のみ)	面接型	基礎学力型Ⅰ期	基礎学力型Ⅱ期
(1) 入学志願票	○	○	○	○
(2) 調査書等	○	○	○	○
(3) 課題レポート/レポート		○		
(4) 志望理由書	○			
(5) 付属資料	○			
(6) 各種資格証明書	該当者		該当者	

(注) 1. 表中の○印のついた書類が各選抜の出願に必要な書類です。

2. (6) 各種資格証明書で合格証書等(原本)を提出し、その返還を希望する場合は、その旨を記載したメモを出願時に同封してください。書類確認後、返送します。

■出願書類

(1) 入学志願票

本学WEBサイト上の「WEB出願システム」で志願票を作成し、A4用紙に印刷した志願票を提出してください。なお、入学志願票は入学検定料納入後に、マイページから印刷できるようになります。

①写真

顔写真は、最近3ヵ月以内に撮影した正面・上半身・無帽・無背景の写真データを登録してください(カラー・白黒いずれも可。不鮮明な写真は不可)。服装の指定はありません。

②卒業(見込み)年月

日本の高等学校または中等教育学校卒業(見込み)者は卒業(見込み)月を「3月」と入力してください。日本の高等学校または中等教育学校卒業生で、学年途中で卒業した場合は、「9月」と入力してください。外国の学校卒業生、大学入学資格検定(大検)合格者・高等学校卒業程度認定試験合格者は卒業証明書または合格成績証明書に明記されている年月を入力してください。

※WEB出願システム上で志願票を作成・印刷した後に、氏名(機種依存文字による文字化けに注意)、性別、住所、高等学校名、卒業年月に入力間違いを発見した場合は、訂正箇所を二重線で消し、訂正印を押印後、余白に正しい情報を記入してください。それ以外の部分は修正できません。

(2) 調査書等

- ① 高等学校または中等教育学校卒業生および卒業見込みの者は、出身学校長が、文部科学省の定めた様式により出願受付開始日から3ヵ月以内に作成し厳封したものを提出してください。なお、在学中に海外留学などによって外国の学校に在籍していた者は、「調査書」とともにその期間の「成績証明書」を提出してください（学校長印証明によるコピー可）。
- ② 高等専門学校第3学年修了生および修了見込みの者は、出身学校長が出願受付開始日から3ヵ月以内に作成し厳封したものを提出してください。
- ③ 高等学校卒業程度認定試験または大学入学資格検定合格者は、その「合格成績証明書」を提出してください。また、合格見込み者は合格見込みの証明書を提出し、入学手続き時に必ず「合格成績証明書」を提出してください。
- ④ 外国において学校教育における12年の課程を修了した生および修了見込みの者は、「卒業（見込み）証明書」と最終出身学校の「成績証明書」を提出してください。ただし、日本と外国の双方の高等学校に在籍した者は、日本の高等学校在学中の「調査書」と外国の高等学校に在籍した期間の「成績証明書」を併せて提出してください。

(3) 課題レポート/レポート（本学所定用紙。本学WEBサイトからダウンロード）

指定したテーマについてレポート（800～1,200字）を作成し、提出してください。作成要領については、課題レポート作成要領（総合型選抜【課題プレゼン型】）28頁、レポート作成要領（総合型選抜【面接型】）31頁を参照してください。

(4) 志望理由書（本学所定用紙。本学WEBサイトからダウンロード）

志望理由書①は「今までの学習・活動」と「入学後の学習・活動の目標」について、本学所定の用紙1枚にまとめて提出してください。志望理由書②は外国語学部の出願の場合、提出してください。記入には、黒ボールペンを使用してください（消せるボールペン[フリクション]不可）。

「今までの学習・活動」には、アドミッション・ポリシーに掲げた要件を参考にしながら、今までの学習や活動の中で、特に優れていると思われる内容を簡潔に書いてください。「入学後の学習・活動の目標」には、入学後、どのようなことを学び、実践していきたいのかを記載してください。

(5) 付属資料（本学所定用紙。本学WEBサイトからダウンロード）

記入要領については29頁を参照してください。

(6) 各種資格証明書（該当者のみ）

出願条件に指定した語学資格を証明する証明書（和文、英文いずれも可）を提出してください（原本を提出してください。コピーの場合には、出身学校長の原本証明を受けたものを提出してください）。

提出された証明書原本の返還を希望する場合は、その旨を記載したメモを出願書類に同封してください。希望者にのみ書類確認後、返還します（TOEFL® Official Score Reportsは除く）。

課題レポート作成要領（総合型選抜【課題プレゼン型】）

・総合型選抜【課題プレゼン型Ⅰ期】（経済学部のみ）、総合型選抜【課題プレゼン型Ⅲ期】（国際学部のみ）は課題レポートの事前提出が必要です。本作成要領に従ってレポートを作成してください。

<課題レポートを作成する際のポイント>

<input type="checkbox"/>	本文を書き始める前に、本学 WEB サイトから「課題レポート・プレゼンテーション作成チェックシート」をダウンロードして A4 用紙に印刷し、それを利用して要点を記入し、その内容や論理構成に問題点や矛盾点がないか確認しましょう。
<input type="checkbox"/>	課題レポートは、できるだけ具体的な事実やデータ（資料）に基づいてあなたの主張を説明しましょう。具体的な事実には、あなたが実際に体験したことが含まれていても構いません。
<input type="checkbox"/>	インターネットを用いた情報検索は非常に便利で有益ですが、時には誤った情報が検索されてしまうことがあります。インターネット上の情報を利用する場合は、その情報が正しいものかよく確認しましょう。
<input type="checkbox"/>	課題レポートは、内容だけでなく基本的な文章力も評価の対象になります。本文が完成したら誤字や脱字などがいないか確認しましょう。

■作成要領：（課題レポートは原本を提出してください。）

- (1) 課題レポートは、所定用紙に黒のボールペンで記入してください（消せるボールペン [フリクション] 不可）。また、本文はできるだけ丁寧に記述することを心がけてください。
- (2) 「受験番号」欄は、大学で記入するので記入不要です。
- (3) 「氏名」欄は、志願者本人の氏名を記入してください。
- (4) 「ページ」欄は、それぞれのページ番号と総ページ数を、「ページ番号／総ページ数」という形式で記入してください。例) 「1／3」
- (5) 「専攻」欄は、志望する専攻を記入してください。
- (6) 「テーマ」欄は、選択したテーマを記入してください。必要に応じてサブタイトルをつけても構いません。テーマにタイトルがついていない場合、自身で考えてタイトルをつけてください。
- (7) 本文の様式は、次のとおりとします。
 - ① 文字数の目安は、800～1,200 字（図・表・グラフ・写真の説明などを含む）です。
 - ② 横書きで記述してください。また、文体は「だ・である」調を使ってください。全体をいくつかの節に分け、それぞれに見出しをつけて構成を分かりやすくするとよいでしょう。
- (8) 本文中に図・表・グラフ・写真などを貼りつける場合は、次の点に注意してください。
 - ① 全体のレイアウトには特に制限はありません。
 - ② パソコンなどを用いて作成し印刷したものを貼りつけても構いません。
 - ③ また、他の文献や資料からコピーしたものを貼りつけても構いません。その場合は、必ず番号とタイトルをつけ、その出典を記入してください。出典は、挿入する図・表・グラフ・写真などの下に書いてください。「著者名、書名、出版社名、掲載ページ、出版された西暦年」などを、次の例を参考にして記入してください。

(出典) 麗澤一郎、今日のインターネットの普及状況、廣池出版、p. 123、2020 年。
(出典) 総務省編、令和 2 年版情報通信白書、ぎょうせい、2020 年、p. 191 をもとに筆者がグラフを作成した。
(出典) 2021 年 5 月 27 日、柏市光ヶ丘にて撮影。

■記入上の注意

- (1) 記入用紙は本学 WEB サイトからダウンロードした本学所定用紙を用いてください。
- (2) 黒のボールペンで記入してください（消せるボールペン [フリクション] 不可）。
- (3) 記入は志願者本人が行い、末尾に署名してください。
- (4) 年月日の記入には西暦を用いてください。
- (5) 取得資格の欄に記入した者は、取得資格証明書または成績証明書などのコピーを必ず添付してください。添付していない内容は採点されません。
- (6) 高等学校時の諸活動、ボランティアおよび社会教育活動、特記事項の欄に記入した者で、受賞や活動の状況を証明するものがあれば、客観的評価が容易になりますので添付してください（賞状などについてはコピーでも可）。
- (7) 取得資格、高等学校時の諸活動、ボランティアおよび社会教育活動、特記事項の欄が無記入であっても署名は必要です。

■各項目について

(1) 取得資格

取得した資格のコード(次頁の別表参照)、資格名、段級・得点、取得(受験)年月日を所定欄に記入してください。資格コードとして 199、299、399、499、999 を記入した者は、資格欄に資格の正式名称と実施団体名を記入してください。

(2) 高等学校時の諸活動

生徒会活動や部活動について記入してください。生徒会本部役員(会長・副会長・書記・会計など)、全校レベルの役員(文化祭実行委員長・寮長など)を経験した者は、生徒会活動の欄に役員名・期間・具体的な活動内容を記入してください。文化系、運動系を問わず1年間以上継続して部活動を行った者は、部活動の欄に部の名称・役割・活動期間・最高の成果を記入してください。最高の成果は大会名称と成績を正確に書いてください。

(3) ボランティアおよび社会教育活動

社会奉仕活動を経験した者は、主催者・期間・回数または日数・具体的な活動内容を記入してください。学校以外の団体が主催する活動も含まれます。具体的な活動内容は、客観的評価を行う上で重要ですので必ず記入してください。

(4) 特記事項

(1)～(3)に該当しないことは、この欄に具体的に書いてください。

なお、海外留学経験のある者は、この欄に国名・期間・留学目的・留学先機関・留学の成果を記入してください。留学先機関からの修了証明書や成績証明書などがあれば、コピーを添付してください。

■評価の視点

アドミッション・ポリシーに照らして志願者の資質・可能性が本学にふさわしいかどうかを確認します。

■資格コード表 (別表)

分野	名称	実施団体	コード	
英語	実用英語技能検定	日本英語検定協会	101	
	全商英語検定試験	全国商業高等学校協会	102	
	国際連合公用語英語検定試験	日本国際連合協会	103	
	日商ビジネス英語検定	日本商工会議所	104	
	技術英語能力検定	日本技術英語協会	105	
	TOEFL®	Educational Testing Service	107	
	TOEIC®	国際ビジネスコミュニケーション協会	108	
	ケンブリッジ大学英語検定試験	ケンブリッジ大学英語検定機構 (Cambridge ESOL)	109	
	IELTS	日本英語検定協会	110	
	その他の外国語関係検定試験			199
	情報技術	基本情報技術者試験	情報処理推進機構 (IPA)	202
IT パスポート試験		情報処理推進機構 (IPA)	203	
その他のIPA資格		情報処理推進機構 (IPA)	204	
ICTプロフィシエンシー検定試験		ICTプロフィシエンシー検定協会	206	
日商PC検定試験		日本商工会議所	208	
全商情報処理検定試験		全国商業高等学校協会	210	
情報技術検定		全国工業高等学校長協会	213	
デジタル技術検定		国際文化カレッジ	215	
情報検定 (J検)		職業教育・キャリア教育財団	216	
その他の情報技術関係検定試験			299	
簿記		日商簿記検定試験	日本商工会議所	301
	簿記実務検定試験	全国商業高等学校協会	302	
	簿記能力検定	全国経理教育協会	303	
	その他の簿記関係検定試験			399
数理	実用数学技能検定	日本数学検定協会	401	
	その他の数理関係検定試験		499	
その他	アドミッション・ポリシーに関するもの		999	

■諸活動の例示

項目	例示
高等学校時の諸活動	生徒会本部/全校レベルの役員または1年間以上継続した部活動 <ul style="list-style-type: none"> ・ 生徒会会長/副会長/書記/会計など ・ 文化祭実行委員長/同副委員長/寮長など ・ 陸上部や剣道部など学校公認の部活動実績、成果 (部長、県大会8位以内に入賞など)
ボランティア および 社会教育活動	<ul style="list-style-type: none"> ・ 特別支援学校、老人ホームでの奉仕活動 ・ 被災地復興支援などのボランティア活動 ・ 公共施設周辺の清掃 ・ 青少年スポーツ活動の指導 ・ 非営利団体による社会教育活動など ・ 公民館、図書館などを利用した社会教育活動
特記事項	上の項目以外の表彰や諸活動など <ul style="list-style-type: none"> ・ 公的団体主催のコンクール・競技会などで受賞 (作文、弁論、英語スピーチなど) ・ 学校主催のコンクールなどで受賞 (部活動以外) ・ 海外の学校に留学など

レポート作成要領（総合型選抜【面接型】）

- ・レポート用紙は、本学所定用紙「総合型選抜 面接型」を本学 WEB サイトからダウンロードしてください。

<レポートを作成する際のポイント>

<input type="checkbox"/>	「志望理由」について 学部や志望する専攻の理念やカリキュラムの特徴について、情報収集を行い、それを自身が希望する学修内容と結びつける形で、なぜこの学部・専攻に入りたいかを明確に述べてください。
<input type="checkbox"/>	「学修計画書と将来ビジョン」について 自身の関心事についての客観的情報を調査・収集し、志望専攻のカリキュラムと結びつけて4年間の学修計画を立ててください。また、その4年間の学びが、卒業後のキャリア（進路）にどうつながるのかを必ず述べてください。
<input type="checkbox"/>	レポートは、内容だけでなく基本的な文章力も評価の対象になります。本文が完成したら誤字や脱字などがないか確認しましょう。

■作成要領：（レポートは原本を提出してください。）

- （1）レポートは、所定用紙に黒のボールペンで記入してください（消せるボールペン〔フリクション〕不可）。また、本文はできるだけ丁寧に記述することを心がけてください。
- （2）「受験番号」欄は、記入不要です。
- （3）「氏名」欄は、志願者本人の氏名を記入してください。
- （4）「ページ」欄は、それぞれのページ番号と総ページ数を、「ページ番号／総ページ数」という形式で記入してください。例）「1／3」
- （5）「専攻」欄は、志望する専攻を記入してください。
- （6）本文の様式は、次のとおりとします。
 - ① 文字数の目安は、800～1,200 字（図・表・グラフ・写真の説明などを含む）です。
 - ② 横書きで記述してください。また、文体は「だ・である」調を使ってください。全体をいくつかの節に分け、それぞれに見出しをつけて構成を分かりやすくするとよいでしょう。
- （7）本文中に図・表・グラフ・写真などを貼りつける場合は、次の点に注意してください。
 - ① 全体のレイアウトには特に制限はありません。
 - ② パソコンなどを用いて作成し印刷したものを貼りつけても構いません。
 - ③ 他の文献や資料からコピーしたものを貼りつけても構いません。その場合は、必ず番号とタイトルをつけ、その出典を記入してください。出典は、挿入する図・表・グラフ・写真などの下に書いてください。「著者名、書名、出版社名、掲載ページ、出版された西暦年」などを、次の例を参考にして記入してください。
(出典) 麗澤一郎、今日のインターネットの普及状況、廣池出版、p. 123、2020 年。
(出典) 総務省編、令和 2 年版情報通信白書、ぎょうせい、2020 年、p. 191 をもとに筆者がグラフを作成した。
(出典) 2022 年 5 月 27 日、柏市光ヶ丘にて撮影。

■出願方法

- ①志願票はすべて WEB 上での作成となります。本学 WEB サイトから「WEB 出願」ページにアクセスし、必要事項を入力し、入学検定料納入後、A4 用紙に印刷をしてください。
 - ②出願書類は任意の封筒に一括して封入し、必ず簡易書留速達にして、締切日（消印有効）までに郵送してください。出願書類に不備があるものは受け付けませんので、よく確かめて出願してください。
- ※出願書類の配送状況は、郵便局 WEB サイトの郵便追跡サービスで確認してください。

■入学検定料の納入

- (1) 入学検定料 35,000 円
- (2) 入学検定料支払方法（支払手数料は志願者負担となります）
WEB 出願の際に選択した支払方法で納入してください。
コンビニエンスストア、ペイジーでの支払いを選択した場合は、指定された支払期限日までに選択した支払窓口で検定料を納入してください（支払期限日までに納入できなかった場合は、その出願は無効になり、再度 WEB 出願を行う必要があります）。クレジットカード支払いを選択した場合は即日決済となります。
- (3) 注意事項
 - ① 現金、郵便為替などでの納入は受け付けません。
 - ② 一旦納入された入学検定料は、いかなる理由があっても返還しません。志願票の入力内容をよく確かめてから検定料の納入をしてください。

■出願手続上の注意事項

- (1) 出願資料の提出はすべて郵送に限ります。
- (2) 出願書類に不備のあるもの、および締切日を過ぎた消印のものは受け付けません。
- (3) 出願書類に後日虚偽の事実が発見された場合には、合格を取り消します。
- (4) 出願後の志望学科・専攻の変更は認めません。
- (5) 提出された出願書類は返還しません。ただし、資格証明書原本の返還を希望する者には、書類確認後、返送します。返還を希望する旨を記載したメモを出願時に同封してください。
- (6) 出願後に提出書類（課題レポートや付属資料など）への追加記入および資格証明書などの追加提出はできません。
- (7) 既に本学の入試に出願したことがあったとしても、別の入試区分で再び出願する場合は、調査書等のすべての書類を改めて揃えて出願する必要があります。

■個人情報の取り扱いについて

出願書類に記載された個人情報は、入学者選抜の実施・結果通知および個人を特定しない形で行う統計的な調査のために使用し、その取り扱いについては細心の注意を払います。なお、出身学校から入試結果の問い合わせがあった場合、進路指導上の必要に基づき、可否・入学手続の有無についてお知らせすることがあります。ただし、志願者からの申し出があった場合には、一切通知しないようにします。

■障がい等の理由で受験上の配慮を希望する者への配慮

下表のような理由により受験上の配慮を希望する者は、出願前に大学入試課まで申し出てください。
なお、受験上の配慮については、入学者選抜という性格上、全体の公平性が確保できる範囲で行うものとなります。

区 分	受験上の配慮の対象となる者
視覚障がい	<ul style="list-style-type: none">・点字による教育を受けている者・良い方の眼の矯正視力が 0.15 以下の者・両眼による視野について視能率による損失率が 90%以上の者・上記以外の視覚障がい者
聴覚障がい	<ul style="list-style-type: none">・両耳の平均聴力レベルが 60 デシベル以上の者・上記以外の聴覚障がい者
肢体不自由	<ul style="list-style-type: none">・体幹の機能障がいにより座位を保つことができない者または困難な者・両上肢の機能障がい著しい者・上記以外の肢体不自由者
病弱	<ul style="list-style-type: none">・慢性の呼吸器、心臓、腎臓疾患等の状態が継続して医療・生活規制を必要とする程度の者またはこれに準ずる者
発達障がい	<ul style="list-style-type: none">・自閉スペクトラム症、学習障がい、注意欠如・多動症のため配慮を必要とする者
その他	<ul style="list-style-type: none">・上記の区分以外の者で特別な措置を必要とする者

■受験方法

来学での受験となります。諸事情により、オンラインでの受験を希望する場合は大学入試課までご連絡ください。

■受験票印刷

- (1) 受験票は、試験ごとに指定された以下の期日から印刷が可能となります。印刷可能となった際、志願票作成時に登録したメールアドレスに通知されます。通知後、各自でWEB出願システムのマイページから印刷し、試験当日に携帯してください。

入試区分	受験票印刷開始日
総合型選抜【課題プレゼン型Ⅰ期】(専願型/併願型)	10月19日(水)午前10時
総合型選抜【基礎学力型Ⅰ期】(専願型/併願型)	11月17日(木)午前10時
総合型選抜【面接型】	
総合型選抜【課題プレゼン型Ⅲ期】	12月15日(木)午前10時
総合型選抜【基礎学力型Ⅱ期】	
総合型選抜【グループディスカッション型】	

- (2) 受験票の記載内容に誤りのある場合は、直ちに大学入試課まで連絡してください。

■試験会場

麗澤大学キャンパス(所在地および案内図は38頁参照)

※キャンパス内の試験場は受験票で確認してください。

■受験上の注意

- (1) 試験場へは午前8時30分から入場できます。
- (2) 試験場に入る際は必ず受験票を提示してください。
- (3) 受験票を忘れた場合には、受付係員に申し出てその指示に従ってください。
- (4) 遅刻した場合は、基礎学力型Ⅰ期・Ⅱ期のみ試験開始後30分以内まで入室を認めます。
次の選抜については遅刻は認めません。
 - 1) 課題プレゼン型Ⅰ期、Ⅲ期
 - 2) 面接型
 - 3) グループディスカッション型
- (5) 受験票は、試験時間中は常に机上に提示しておいてください。また、休憩時間に試験場を出る場合は必ず携行してください。
- (6) スマートフォン、携帯電話などの通信機器は、試験室に入る前に必ず電源を切ってカバンなどの中にしまってください。
- (7) 会場へは受験生のみしか入場できません。また、付添者の控室は用意しておりません。

合格発表

- (1) 受験結果（合格・不合格）は合格発表日の午前 10 時に本学 WEB サイトで発表します。郵送での通知は行いません。結果の照会には受験番号と受験者の誕生日(4桁、例：誕生日が1月1日の場合 0101)が必要です。また、確認できる期間は合格発表日を含めて7日間です。
- (2) 合格者は、合格通知と入学手続書類を WEB 出願システムのマイページで確認して期限までに入学手続を行ってください。
- (3) 電話などによる可否の問い合わせには応じません。
- (4) 入学手続期限後の入学手続は一切認めません。
- (5) 本学に合格した場合でも、入学までの期間に高等学校の指導に従わない場合、また本学の学生としてふさわしくない行動があった場合には、合格を取り消すことがあります。

■入学手続方法

- ・合格者は所定の期日までに学校納付金（入学金・授業料）を所定の金融機関に振り込み、「振込受付証明書（入学手続用①）」を所定用紙に貼付し、任意の封筒にて本学（大学入試課宛）へ郵送してください。
- ・その他の入学手続書類は、所定の期日までに本学（大学入試課宛）へ任意の封筒に同封し郵送してください。詳細は「入学手続要項」を参照してください。
- ・入学金を除く学費などについては、事情がある場合には2023年3月10日（金）まで納入を延期することができます。詳細は「入学手続要項」を参照してください。

【注意点】次の選抜（専願型）については、入学を確約している者であるため、一旦納入された学費および提出書類はいかなる理由があっても返還しません。やむを得ない理由により入学できなくなった場合は、文書にて申し出てください。2023年3月31日（金）（消印有効）までに申し出のあった場合に限り、諸会費のみ返還します（送金手数料を差し引く）。

- ①課題プレゼン型Ⅰ期（専願型）
- ②課題プレゼン型Ⅲ期
- ③基礎学力型Ⅰ期（専願型）
- ④基礎学力型Ⅱ期
- ⑤面接型
- ⑥グループディスカッション型

■入学手続書類

入学手続書類の詳細については、「入学手続要項」に従ってください。「入学手続要項」および入学手続書類は、合格後 WEB 出願システムのマイページからダウンロードして確認してください。

■学校納付金振込期限および振込受領書提出期限

入試区分	入学手続期限（消印有効）
総合型選抜【課題プレゼン型Ⅰ期】（専願型）	11月15日（火）
総合型選抜【課題プレゼン型Ⅰ期】（併願型）	12月1日（木）
総合型選抜【基礎学力型Ⅰ期】（専願型）	12月15日（木）
総合型選抜【面接型】	
総合型選抜【課題プレゼン型Ⅲ期】	2023年1月20日（金）
総合型選抜【基礎学力型Ⅰ期】（併願型）	
総合型選抜【基礎学力型Ⅱ期】	
総合型選抜【グループディスカッション型】	

※所定の期日までに入学手続を完了しない者は入学資格を失います。

■入学辞退と納入金の返還

総合型選抜【課題プレゼン型Ⅰ期】（併願型）、総合型選抜【基礎学力型Ⅰ期】（併願型）の合格者が学費等を納入した後に入学を辞退する場合は、入学辞退期限（2023年3月31日（金）[消印有効]）までに本学所定の「入学辞退届」を簡易書留にて郵送し、申請してください。入学辞退の期限内の消印があるものに限り受け付け、入学金を除く授業料、施設費、諸会費（送金手数料を差し引く）を4月頃に返還します。

2023 年度学校納付金（予定） — 年額 —

学 費 等

※消費税は課されません。

費 目		初年度納付金額	納 入 期 限		2～4 年次 納付金額 (年額)
			入学手続時	9 月 19 日	
学 費	入 学 金	260,000 円 (初年度のみ)	260,000 円		
	授 業 料	830,000 円	415,000 円	415,000 円	830,000 円
	施 設 費	300,000 円	150,000 円	150,000 円	300,000 円
	小 計	1,390,000 円	825,000 円	565,000 円	1,130,000 円
諸 会 費 等	学友会入会金	4,000 円 (初年度のみ)	4,000 円		
	学 友 会 費	6,000 円	6,000 円		6,000 円
	後 援 会 費	30,000 円	30,000 円		30,000 円
	麗澤校友会入会金	20,000 円 (初年度のみ)	20,000 円		
	小 計	60,000 円	60,000 円		36,000 円
合 計		1,450,000 円	885,000 円	565,000 円	1,166,000 円

※学内には関係諸団体として以下の3団体があり、それぞれの会費などを入学手続時に一括代理徴収しています。

学友会	学部学生全員を会員（大学院生は会友）とし、本学創立の精神に則り、会員の融和とその知的情操的教養の向上ならびに健康の増進を図るための各種の活動を行うことを目的としています。運動系・文化系の部・同好会の課外活動や大学祭および各種行事の企画・運営、出版活動を行っています。
後援会	在学生の保護者・保証人またはこれに準ずる者で組織され、大学との密接な連絡を取り、大学の円満な発展ならびに子女の教育向上に協力し、かつ会員相互の親睦を図ることを目的として、諸活動を企画・実施しています。
麗澤校友会	本学在学生と卒業生で構成されている同窓会組織です。本会では、会員相互の交流と親睦を図り、建学の精神の高揚と母校の発展を願って、会報の発行や同窓会開催支援、母校の諸活動への援助・支援などの事業と活動を展開しています。なお、在学中の会費は免除されます。

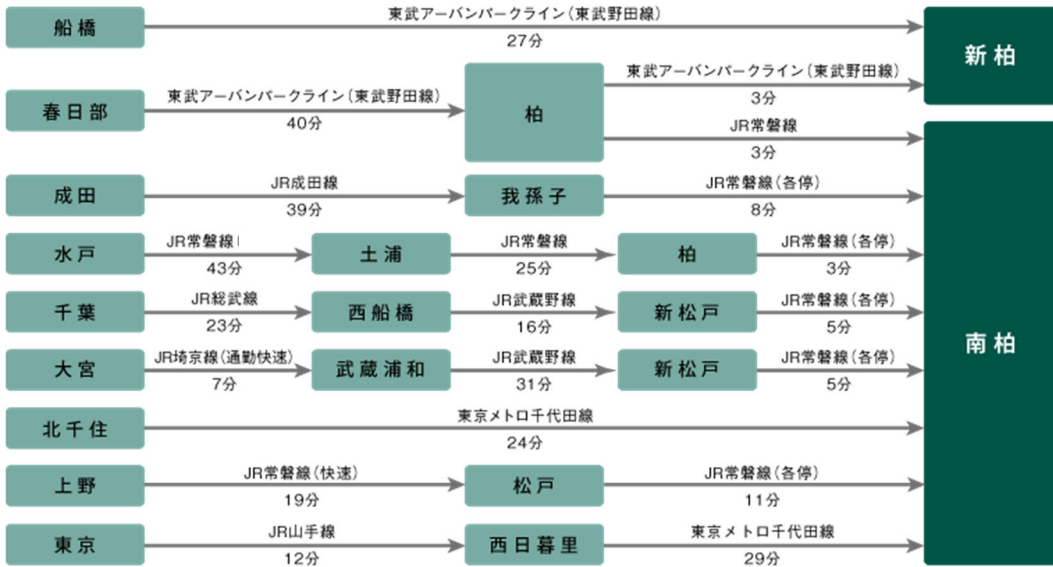
試験会場案内

- (1) 試験当日、来場の際は公共交通機関をご利用ください。
- (2) 試験会場の下見は建物の位置確認のみとし、建物内に入ることはできません。

■麗澤大学キャンパス

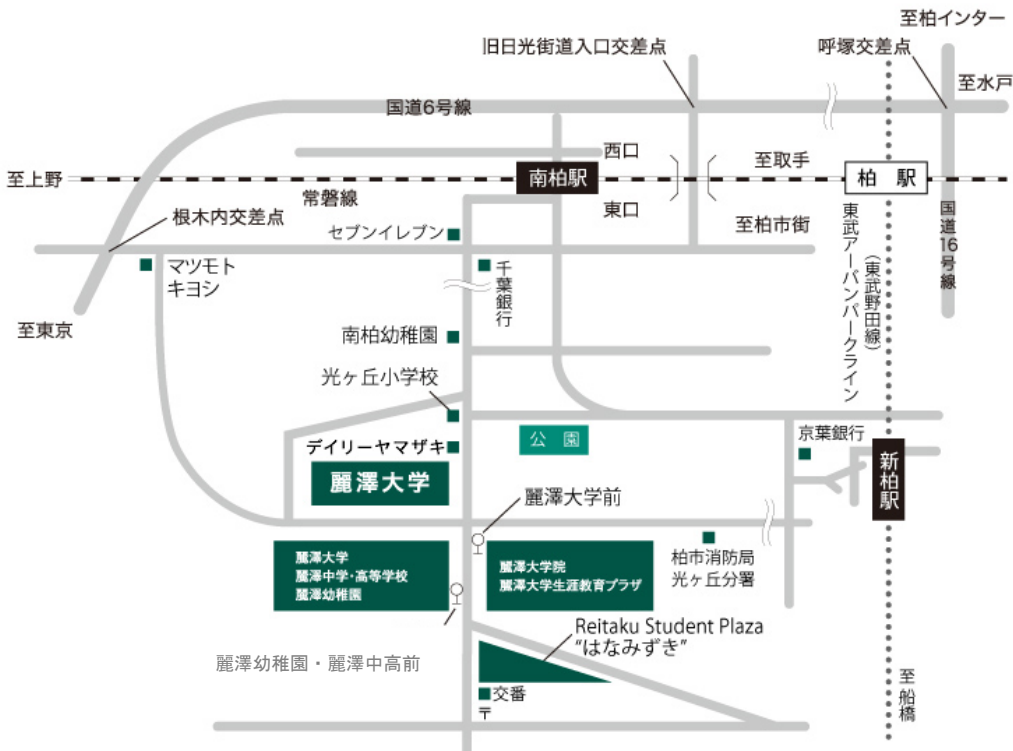
〒277-8686 千葉県柏市光ヶ丘2丁目1番1号

■主要駅から新柏駅・南柏駅までのアクセス例



■南柏駅から大学までのアクセス

- ・東口から東武バス（①番乗り場）に乗車（約4分）。「麗澤大学前」にて下車。
- ・徒歩では約15分。



災害特別措置

本学では、原則として当該年度中（入学前年度）に発生した災害によって、災害救助法の適用または激甚災害に指定された地域出身の受験生に対し、以下のような措置を行っています。

<対象者>

次のいずれかに該当する者で、経済的に修学困難となった者

- (1) 家計支持者が居住する家屋が全半壊や流出などの損壊、または浸水等の被害を受けた場合
- (2) 家計支持者が死亡もしくは行方不明、または長期療養中や重度な障害を負った場合
- (3) 家計支持者が失業するなどして著しい家計急変があり、学費納入が困難である場合
- (4) 前各号に準ずる状況で、経済的に修学困難であると認められる場合

<受験生に対する特別措置>

- (1) 出願手続について
 - ①入学検定料を免除します。
 - ②調査書など必要書類に関しては、被災のため提出できない場合は事後提出を認めます。
- (2) 受験時の宿泊について
受験日前日に、受験者用に学内の宿泊施設を無料提供します。
ただし、希望者は本学大学入試課まで事前に申し出てください。
- (3) 本学に入学する者については、入学金（260,000円）、入学年度第1学期授業料（415,000円）を免除します。

特別措置の適用および適用範囲は審査により決定し、審査には申請書および罹災証明書などの提出が必要です。申請を希望する場合は、本学WEBサイト上から申請書をダウンロードし、必要書類を揃えて提出してください。審査結果の通知は、3月頃に申請書に記載の住所へ郵送します。

- 98



〒277-8686 千葉県柏市光ヶ丘2丁目1番1号

<https://www.reitaku-u.ac.jp/>

<出願に関するお問い合わせ>

大学事務局大学入試課

<https://tayori.com/f/nyushi>

